

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-109313
(P2021-109313A)

(43) 公開日 令和3年8月2日(2021.8.2)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 3 2 B 1/08 (2006.01)	B 3 2 B 1/08 Z	3 H 0 1 3
B 3 2 B 27/00 (2006.01)	B 3 2 B 27/00 C	4 F 1 0 0
B 3 2 B 27/32 (2006.01)	B 3 2 B 27/32	4 F 2 1 1
B 3 2 B 27/30 (2006.01)	B 3 2 B 27/30 D	
F 1 6 L 13/10 (2006.01)	F 1 6 L 13/10	
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 26 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2020-467 (P2020-467)
(22) 出願日 令和2年1月6日(2020.1.6)

(71) 出願人 000002174
積水化学工業株式会社
大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号
(71) 出願人 598015084
学校法人福岡大学
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(74) 代理人 110001232
特許業務法人 宮▲崎▼・目次特許事務所
(72) 発明者 志村 吏士
滋賀県栗東市野尻75 積水化学工業株式会社内
(72) 発明者 和田 弘志
滋賀県栗東市野尻75 積水化学工業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 樹脂管と継手との接合構造体

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 樹脂管と継手との接合部分において、常温及び高温での繰返し疲労特性を高めることができ、従って、接合信頼性を高めることができる樹脂管と継手との接合構造体を提供する。

【解決手段】 樹脂管1と継手2との接合構造体4において、前記樹脂管1が、樹脂管本体11と、前記樹脂管本体11の外表面上に配置された第1の改質層12とを備え、前記継手2が、継手本体21と、前記継手本体の内表面上に配置された第2の改質層22とを備え、前記第1の改質層12及び前記第2の改質層22がそれぞれ、側鎖結晶性ブロック共重合体を含み、前記樹脂管1と前記継手2との接合部分において、前記第1の改質層12と、接着層3と、前記第2の改質層22とが、この順に配置されている構造を有する。

【選択図】 図1

